

令和7年度 小金井市立南小学校経営の方向性

校長 檀原 延和

「今日が楽しく明日がまたれる学校」をめざして

【学校経営の基本的な考え】

教育を職とする私たちの役割は、子供たちに学ぶ場を用意し、子供たちの自己実現が図れるよう、適切な指導や支援をする伴走者になり、一人一人の子供がよりよい社会の形成者となる土台を醸成することです。(自律と共生)

令和の日本型教育の答申では、急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力として「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」と示されました。望ましい集団の中で、どの子供にも居場所や活躍の場があり、その中で自分の力を思う存分発揮し、子供たちの目が輝いている学校でありたいと願っています。それは、一人一人が認められ、生かされている学校であり、どの子供にとっても「今日が楽しく、明日がまたれる学校」です。

それには、教職員全員が心身ともに健康で、活気にあふれていることが前提であり、そのために働き方改革の更なる推進が不可欠です。学校の働き方改革の真の目的は、「教育の質の向上」です。そこで大切な視点は、①生み出す教育的価値を大きくすること、②それに割く時間を少なすること、もしくは、創造的余白を多く生み出すことだと考えます。昨年度も、多くの働き方改革、業務改善を実行してきました。学校は、PDCA サイクル[Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Act (改善)]が基本ですが、OODA ループ[Observe (観察)・Orient (状況判断)・Decide (意思決定)・Act (実行)]を取り入れてカリキュラムマネジメントを実行していくことが、ますます重要になってきます。それには、職員間の対話やコミュニケーションを大切にし、互いの思いや考えを尊重し合うことがすべての基本となります。その上で、職層や各分掌に応じた役割や使命、責任を果たし、互いに切磋琢磨していくことが、「チーム南小学校」としての教育力を高めていくことにつながると考えます。先生たち、職員の皆さんが元気だと、子供たちも元気。先生たち、職員の皆さんの仲が良いと、子供たちも仲が良い。そのような学校にしていきたいと思います。そして教職員の皆さんにとっても「今日が楽しく、明日がまたれる学校」となるように力を合わせていきたいと思います。

【学校教育目標】

人間愛に根ざし、自他の生命と人格を尊重し、知・徳・体の調和した、豊かな個性と創造力を持ち、心も体も健康な南小の子供を育てる。

◎ふかく考える子・・・他者と協働し、問題を解決することのできる児童の育成

【今年度の重点】

(個別最適な学びと協働的な学びの往還、探究的な学習の推進)

○なかよく助け合う子・・・自他の生命と人格を尊重する、思いやりのある児童の育成

(あいさつ、適切な言葉遣い、丁寧な清掃活動等)

○ねばり強くやり通す子・・・困難に負けない、試練に打ち勝つ児童の育成

(トライアンドエラーの経験、「努力や過程」の重視)

○明るく元気な子・・・心も体も健康な児童の育成

(自尊感情や自己肯定感、体力向上に向けた取組、外遊びの充実等)

【目指す学校像】

(キーワード)

子どもが通いたい学校	「今日が楽しく、明日が待たれる学校」「友達を思いやり互いを認め合う」「学び合い一人一人が伸びる」「行事が楽しく自分の居場所がある」
保護者の皆様が通わせたい学校	「安全で、安心して子供を通わせられる」「協力し共に子供を育てる学校」「何でも相談できる」「学力を高め豊かな心を育ててくれる」
地域の方々が誇りにできる学校	「社会に開かれ地域の力を生かす学校」「地域文化の中心となる学校」「学校へ足を運びやすい、地域と協力してくれる学校」
教職員が働き続けたい学校	「組織の一員として互いに尊重し合い、自分の力を発揮できる学校」「働きがいと働きやすさの両立」「切磋琢磨し学び合える学校」

【小金井市の教育スローガン】



【小金井市の教育課程の方向】

1 授業変革の推進

- (1) 「問い」の発見や解決に挑む授業の実践や授業における対話の充実、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の実践を通して、未来を見据えた主体的に学び合う子供の育成を図る。
- (2) デジタル社会をよりよく生きる力の育成や、教科の特性に応じて一人一台 ICT 端末等の効果的活用による、児童・生徒一人一人の特性を踏まえた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

2 子どもの権利の尊重

- (1) 小金井市子どもの権利に関する条例の授業やいじめに関する授業の充実、子供の声や意見を聞く取組の推進を通して人権教育・生命尊重教育の充実を図り、子どもの権利を大切にする学校づくりを推進する。
- (2) 不登校対策として、魅力ある学校づくりによる未然防止、組織的な早期発見・早期対応、多様な学びやニーズへ対応する個に応じた支援等の取組の充実を図る。

3 コミュニティ・スクールとしての地域連携の推進

- (1) 小金井市公立学校運営協議会を中心とした保護者や地域住民の参画及び積極的な情報共有・情報発信を通して、地域・保護者と未来を生きる子供の姿の共有し、地域社会との連携・協働を推進する。
- (2) 地域の教育資源や学習環境を活用するとともに、学校、家庭、地域と連携・協働した特色ある教育

